



クラス通信



木田幼稚園
令和2年10月号

いよいよ秋も深まり肌寒さを感じるようになりました。体調を崩しやすいこの時期、衣服調節や手洗い、うがいの励行、十分な換気や湿度調節を行いお子様、教師共に体調管理に留意していきます。

☆造形月間 学園まつり

今月は造形月間でした。素材集めにご協力を頂きありがとうございました。各学年、ストロー、スプーン、モール、ボタン、ペットボトルのキャップ等様々な素材を選び工夫した壁面製作、大中小、大きさの異なる箱を組み合わせて制作した小箱製作、金づち・釘の扱い方を学びながら行った木工製作、そして年長は陶芸活動を楽しみ取り組みました。縦割り保育で行った造形活動（小箱あそび・段ボールあそび・ぬたくりあそび）は他学年の友達とのかかわりの中でこれまで知らなかった造形技法を教わったり、互いに助け合ったりしながら共に製作活動を楽しみました。当日はお子さまの作品をご家族の皆さまでゆっくりご覧いただいたり、造形コーナーで楽しく過ごす様子が伺えました。



☆親子遠足「東山動植物園」

10月2日（金）親子遠足で「東山動植物園」に出掛けました。バスの中では、バスガイドさんによる手遊び、動物クイズ等で楽しく過ごしました。到着後はクラス毎で「きりん」や「ペンギン」、「カバ」などの動物を見学し、その後、芝生にシートを敷いて楽しい会話をみんなで楽しみながら昼食を頂きました。その後、各ご家族に分かれ自由に動物園を散策し、楽しい秋の一日を過ごす事が出来ました。



☆親子安全教室

10月8日（木）愛知県津島警察署 伊藤警部補・亀井巡査に來園していただき、横断歩道の渡り方・信号機の説明・パトカーについて学びました。本物のパトカーを目の前にしたお子さま達は興味津々。コロナウイルス感染防止のためパトカーの乗車はありませんでしたが、外からパトカーの中を見せて頂いたり、サイレンの音を聞かせて頂きました。「あのマイクで外の人にお話するんだね」と新たな発見が多くありました。自分の身を自分で守るということにつながると学びました。



☆芋ほり（食育実践活動）

10月15日（木）幼稚園のすくすく菜園で苗を植え、水やり、草取り、観察をし大切に育てたサツマ芋「紅あずま」を収穫しました。お子様たちはツルの根元をたどって一生懸命土を掘りました。「なかなかお芋が出てこないな」「力を合わせて頑張ろう！」と友達と協力しあいながらこれまでに見たことのないくらい大きな芋が収穫できました。収穫後は、蒸したサツマイモをみんなで食べ、「ホクホクしていておいしいね」「まだまだたくさん食べられそう」という満足気な笑顔と歓声が聞こえました。



☆大根の種まき

10月30日(金)すくすく菜園の畝にペットボトルで穴をあけ、「冬どり年越し大根」の種を5粒ずつまきました。お子様たちは「早く出来るといいな」「出来たらどうやって食べようかな?」と収穫できることを楽しみにしながら行っていました。今後もお子様達と水やり・草取りを行い育てていきます。



☆ほし組

年長組ならではの活動として専任講師 上赤正文先生の指導のもと陶芸製作(かわいい人形)を行いました。導入として、理事長先生より中国の唐時代 加彩譚の貴重な人形を見せて頂き、1500年位前の人形にお子さん達も興味津々でした。油粘土で製作手順を一通り行ったのち、実際に陶芸用粘土に触れたお子様たちは「油粘土より丸くなりやすいね」「冷たくて気持ちいいね」と感触を楽しみながら取り組み、頭・身体、洋服・帽子・髪の毛を一つ一つ仕上げていきました。

上赤先生より「1つずつのパーツをつける際は接着する部分に切り込みを入れ、どべ(粘土に水を加えクリーム状にしたもの)を塗るんだよ。」と指導を受けたお子様たちは「どべ?」「傷薬を塗るみたいだね」「この土でつくのかな?」「うわ~! 本当にくっついた」と楽しい発見・学びを重ねながら楽しく陶芸製作を行う事が出来ました。



☆ぺんぎん組

小箱・壁面製作に加え、新たに木工製作を行いました。年中組のテーマは「動物」。初めての木工製作にお子様たちは期待や意欲でいっぱい!!目をキラキラさせて様々な動物をイメージしながら首の長いキリン、鼻が長いゾウ・・・と自由に木材に触れ、好きな形・パーツを工夫しつつ自由に選びながら独特な匂い、肌触りを感じました。そして、金づちを持って釘打ちの方法を教わり、右手で金づち、左手で釘を支える・・・一連の流れがむずかしく悪戦苦闘するお子様たちでしたが「釘が曲がった! どうしよう」「小さくトン、大きくトン」と回を重ねるごとに上手になり、楽しい歓声も沢山聞かれました。お子さんの個性あふれる素敵な作品が出来ました。



☆りす組

絵画・壁面・小箱・小麦粉粘土・ぬたくり・ダンボール等様々な造形遊びに取り組みました。中でも皆が楽しみにしていたのは「小麦粉粘土あそび」。

日頃から行っている野菜の手遊びを通してこれまでに多くの野菜の名称を知りました。その中から30種類の野菜の写真を並べ、それぞれの野菜の色や特徴を発見しながら作りたい野菜を各自が決めました。導入として油粘土を使って両手で丸めたり、細長く伸ばしたり、指先を使って細かいパーツを作って組み合わせて遊びました。そして、学園まつり3日前いよいよ本番! 赤・黄・青・緑・白・紫・茶色の小麦粉粘土を目にしたお子様たちは「うわー、きれい!」「早く作りたい」と興味津々。「いつもの粘土より柔らかい」と粘土の感触の違いを楽しみながら製作に取り組みました。



☆きりん組

2 学期も半ばとなり、お子様たちそれぞれの語彙が増え、どのお子様も会話や遊びが楽しくて仕方がない様子です。1 年中で 1 番過ごしやすいこの時期はお子様にとっても何事にも意欲的に取り組みやすい「実りの時期」です。今月は縦割り保育や初めての経験である様々な造形活動を通して楽しく活動し、また、ひとつ大きく成長したお子様たちです。

